

防除情報

長崎県病害虫防除所長

令和2年度病害虫発生予察防除情報第5号

水稲 トビイロウンカの防除対策について

トビイロウンカの飛来及び発生が平年より早く確認されています。今後の病害虫防除所の飛来情報等を随時確認するとともに、圃場での発生に注意してください。

記

1. 飛来・発生状況

- (1) 6月11日に予察灯（諫早市）で初誘殺を確認し、平年より早かった(表1、2)。
 なお、県予察圃場で5月5半旬、6月1半旬に成虫を確認しており、平年より早い飛来があったと考えられる。
- (2) 6月前期の巡回調査（40筆）の結果、早期水稲における株当たり虫数は0.0頭、発生圃場率は5.0%であった（平年発生を認めない）。
- (3) 6月3半旬の県予察圃場（諫早市、無防除）調査の結果、早期水稲における株当たり虫数は0.04頭であった（平年発生を認めない）。

表1 トビイロウンカの誘殺状況

月・日	諫早		
	予察灯	ネットA	ネットB
6/1	0	0	0
6/2	0	0	0
6/3	0	0	0
6/4	0	0	0
6/5	0	0	0
6/6	0	0	0
6/7	0	0	0
6/8	0	0	0
6/9	0	0	0
6/10	0	0	0
6/11	1	0	0
6/12	2	0	0
6/13	0	0	-
6/14	1	0	0

※-は欠損

表2 予察灯並びにネットトラップで確認した初飛来日

年	初飛来日
H22	6月18日
H23	—（注）
H24	6月24日
H25	6月20日
H26	7月3日
H27	6月26日
H28	6月19日
H29	7月5日
H30	—（注）
R1	6月30日

(注)は予察灯及びネットトラップでは初飛来が確認がされていないため、—としている

2. 防除対策

- (1) 早期水稲では圃場の見回りを徹底し、幼虫の発生を認めたら防除を行う。また、出穂後の基幹防除を必ず実施する。
- (2) 今後移植する圃場ではウンカ類に効果のある箱施薬剤を必ず施用する。
- (3) 今後も梅雨明けまではトビイロウンカが断続的に飛来すると考えられるため、飛来情報を随時確認し、本田移植後に飛来があった場合は圃場で定着してないか注意深く観察する。

○6月から8月までの3か月間を「農業危害防止運動月間」と定め、農業事故を防止する運動を実施しています。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。「長崎県病害虫防除所ホームページ」アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

